

「英語が楽しい・使える」を実現する。

# Miracle Challenge

楽しく英語に触れあい、チャレンジしていくことで、  
自然な英会話スキルを身につけるエデュケーションプログラム。

Miracle Challenge は、短期間で「英語が使える（話せる）自信」を育む、小中学生対象の英語スキル育成研修です。ミラクルチャレンジで目指すゴールは、「Finite Fluency」=「限られた英語表現での流暢さ」の達成であり、伝わる喜びの実感です。学校で使用している教材との連動により継続的な学びを実現し、さらに「日常的な学習」を「できる」に変え、子どもたちの学びの意欲を高めます。

<http://lbejapan.co.jp/>

**LEGW**  
GLOBAL EDUCATION COMPANY

**Ge**  
Global Education Project



# 英語が話せると世界が広がる、未来が広がる。

Miracle Challengeは、限られた英語表現をもとに、自然な英会話スキルを身につける、小中学生向けの英語スキル育成研修です。

プログラム運営に必要な知識と技能に関するトレーニングを受けた、英語ネイティブレベルの指導者がチームで個々の参加者と向き合いながらゴールへと導きます。

楽しい活動・交流を通じて、英語でコミュニケーションができる自信と喜びを知り、さらに、多様な文化に対する理解を深め、自分の可能性に気づくことができます。

## 短期間で、参加者の

### 「英語ができる」を実現します。

ミラクルチャレンジのゴールは「日常的に使える36の英語表現を習得し、自然な英会話ができるようになる」ことです。36の英語表現を多様なアクティビティで反復練習することで、「発音、リスニング、会話力」をバランスよく身につけます。個々のレベルや進度に応じた評価インタビューで成長を実感し、意欲を高め、「できる」を実感します。

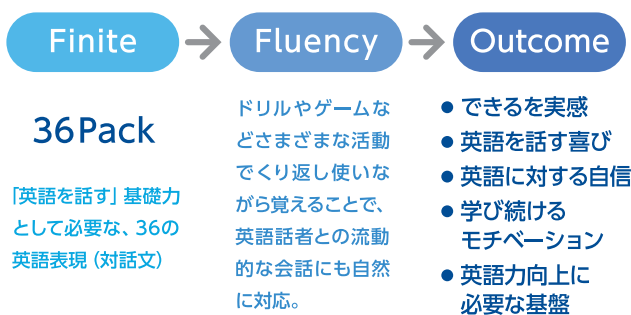
## 専門のトレーニングを受けた運営チームが、 個々の参加者の成長を応援します。

ミラクルチャレンジの運営チームは、国内の大学・大学院で学ぶ留学生(グローバルリーダー)とTEFL(Teaching English as a Foreign Language)の資格取得を目的に、選考を経て海外から招聘するメンバー(イングリッシュレンジャー)です。

## 参加者6~8名に対し1名の比率で活動します。 「楽しい」を前提とした活動や仲間との挑戦が、 好奇心を刺激します。

ミラクルチャレンジの活動は「楽しい」ことが基本です。楽しくアクティブに学び、チャレンジしていくことで成功体験を積み、自信を育みます。明確なゴールに向かって、グループの仲間と切磋琢磨し合いながら英語スキルを伸ばし、国境や言葉の壁を超えた「相互協力」も経験します。

## Miracle Challengeがめざすのは、 Finite Fluency: 限定された中での流暢さ。



## 36Packの会話表現に盛り込まれる要件。

- 学校のALTや英語教員との日常会話に使える。
- 学習者の日常に関連している。
- 学習者の興味や関心を喚起する題材である。
- さまざまな話題(シチュエーション)に応用できる表現形式である。
- 現在、過去、未来など一連の動作や出来事(時制)にも対応。

“Finite Fluency”を達成すると、関連のある他の英語表現も自然に理解できるようになります。

Miracle Challengeは、学校の使用教科書に基づく内容の調整や、参加者のニーズに合わせて、レベルの調整が可能です。「中高生向け」にディスカッションやプレゼンテーションで使える英語表現に重点を置いたスキルアップ研修として実施したりすることもできます。

## 英語のコミュニケーションや、活動を通して学ぶこと。

